

令和6年度

愛知県立美和高等学校同窓会会計決算書

収入済額 14,121,284円

支出済額 1,625,424円

差引残額 12,495,860円（令和7年度へ繰り越し）

(上記の他に定期預金4,070,948円があります。)

収入の部

科 目	収入済額	摘 要
会 費	1,440,000	終身会費 8,000円(40回生 180名)
周年事業積立金	360,000	積 立 金 2,000円(40回生 180名)
繰 越 金	12,312,865	令和5年度より繰越
諸 収 入	8,419	預金利息、 40回生学年会計寄付金等
計	14,121,284	

支出の部

科 目	支出済額	摘 要
運 営 費	1,247,664	
会 議 費	3,055	役員会等諸経費(ペットボトルお茶)
需 用 費	91,850	同窓会報等作成経費
通 信 費	684,063	同窓会報、役員会・総会案内等通信経費
総 会 費	390,706	同窓会総会、懇親会等関係経費
名簿管理費	77,990	同窓会会員データメンテナンス料金
事 業 費	377,760	
行 事 費	29,330	受験生激励用ブラックサンダー購入代
諸 費	348,430	卒業証書用フォルダー代、 地域貢献活動費(美和高マインド)
計	1,625,424	

四十回生として美和高校を卒業し、大学に入学してから約四ヶ月が経ちました。大学生活は毎日四ヶ月が経ちました。しかし、時々高校時代の思い出を懐かしむことがあります。大学での生活は高校生の時に自分が聞いていた大学生活とは少し違っていました。大学は人生の春休みという言葉があります。しかし、私の学部は毎日平均三コマあり週四で一限があり通学時間などを考えると高校よりハードなスケジュールです。

大学では、高校生の時には経験できなかったことをたくさん経験することができています。高校の時と大きく違うのは、より自分の将来のために役立つこと、そして自分が興味あることです。好きなことを学ぶことができています。大学の講義は一コマ九十分でより専門的なことを学ぶことができ、私はとても学びが面白いと感じる一方、専門的なことを学ぶにあたって内容が難しく感じることがや周りとの差を感じることが多くなりました。したがってどの講義の内容を高校時代同様に聞き流しているかと授業についていけないので、しっかりと先生の話を聞けるように大学一年生前期で成長することができました。その一方で、自分の苦手な事に対しての機会が増えました（レポートを書く、ピアノを弾くなど）（しかし自分の将来のためのので苦手なことでも自分の出さず毎日コツコツと継続しています）。

大学は同じ夢や価値観、考えをもった仲間たちが集まっているので、お互いに助け合ったりたり協力しても充実した大学生活を送ることができています。

最後になりますが、四十回生のみならず、がこれからの人生も楽しく充実したものにしたいという心から願うとともに、同窓会において諸先輩方のご指導をいただきます！



「大学生になって」

佐藤 瑠加

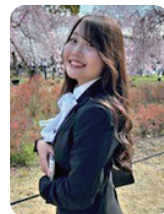
大学生になって
 早や四か月が経ち
 ました。高校生の
 頃は大学生活は
 もっと自由で楽し
 いことばかりだと思
 っていました。し
 かし、実際にはい
 ろいろな大人とし
 ての責任も増え日
 々学びの連続なの
 が現状です。まだ
 まだ未熟な私で
 すが、以下の三つ
 が今の私が心がけ
 ていることです。

まず一つめは「目
 標を立てること」
 です。目標があると
 自分がなぜ頑張
 るのかが明確にな
 り、迷った時の道
 示るべになります
 。そして、その目
 標を達成できた時
 には、大きな達成
 感と自信が得られ
 ます。どんな小さ
 なことでも構いま
 せん。自分なりの
 目標を決め、それ
 に向かって努力す
 ることが大切です。

二つめは「日々
 コツコツと努力す
 ること」です。大
 学生になると、何
 事も自己責任です
 。提出物を忘れ
 たり遅れたりし
 まうこともあります
 。テストも「テス
 ト週間」のような
 期間はなく、いつ
 の間にか試験日
 がやってくるた
 め、日頃からコ
 ツコツと勉強を
 積み重ねておく
 必要があります。

三つめは「体調
 管理をしつかり
 すること」です。
 私は共通テスト
 の日に熱を出して
 しまい、今までの
 努力を十分に熱
 に発揮できません
 でした。みなさん
 には、そんな悔し
 い思いをしてほ
 くありません。受
 験当日や大切な
 日に全力を出す
 ためには、日頃
 の生活リズムや
 健康管理が何よ
 り重要です。

私は、これから
 の大学四年間が
 無駄にならない
 よう、一日一日
 を大切に過
 ごし、全力で頑
 張っていくと考
 えています。四
 〇回生の皆さん
 も、未来の自分
 を信じて、共に
 成長してい
 きましょ
 う。そして同窓
 会において、お
 互いの成長ぶ
 りを讃えてい
 ければよいな
 と思っています。



「心がけていること」

西川真由



三週間、私は英語科の教育実習でお世話になりました。

この実習から大切なことを二つ学びました。

一つめは、自分の色を積極的に出すことです。最初は、授業やSTを出すことができていませんでした。しかし、ある先生が「授業やSTをただ指摘するだけでなく誰でもできる」との大切さに気づき、自分の色を出すことの大切さに気づくことができました。それ以来、生徒との関わり方を工夫するようにすることができました。

二つめは、人の温かくなっています。学校の先生方から親身になつてアドバイスをいただき、生徒たちからたくさん話をかけてくれたり、最終日はサプライズを家族や友人以外から、これほど温かく接していただいたのは初めてでした。今も、皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、私にとって、楽しく学びの多い教育実習とすることができました。関わってくださった皆さま、感謝を申し上げます。気持ちでいっぱいです。本当

金田 流奈



一教育実習の感想

金田流奈

[illegible]

「教育実習を終えて」

岩月惟斗

新規会員の声／40回生

母校での教育実習を終えて